

## 1 単元(題材)名 おにぎり定食をつくろう

## 2 単元(題材)設定の理由

本学年は男子10名、女子2名で構成されている。新しいことへの興味・関心が高い児童が多く、工夫次第で活発な活動が可能である。昨年度は、かさを使ったことがない児童が多いという実態を踏まえて、「かさをさして歩こう」という単元を設定し、学年便りなどで家庭との連携を図りながら学習を実施した。結果としてかさをさして歩くという「必要だが経験したことのなかったこと」を学校で授業として取り上げたことが、その意識付けや技術習得のきっかけとなり、児童によっては家庭でもその学習内容が生かされた例もあった。

本単元の設定にあたり、震災後まだ日も浅く、この時期だからこそ意識化できるものも含めた家庭でのニーズを把握するため、震災時の児童の様子やインスタント食品についての印象、家庭で取り組んだことのある、また、できたらいいなと考えている調理に関する内容などについて、保護者を対象にしてアンケートによる聞き取りを行った。その結果、震災時には多くの児童たちが個人差はあるものの、恐怖心を感じたり、生活に不便さを感じたりしたようである。また、食料の問題ではインスタント食品や缶詰など「あるものでしのぐ」という非常時の対応について実際に経験した児童も多かったようである。調理に関しては、できる範囲で調理を経験させたことのある家庭、できたらいいなと思うものがある家庭が多くみられた。一方で、できたらいいなと思っているが、ハプニングや危険を憂慮して経験させていない家庭もあった。

簡単な調理ができる力は、将来の生活に豊かさと楽しさを与えると考えられる。さらに、今回のような震災を経験したことによって、非常時にも生かされる大切な力の一つだと気がつき、必要性を強く感じた。また、震災の混乱の中で便利さを実感したインスタント食品や缶詰などを利用することにより、身近で便利な調理器具(炊飯器・電子レンジなど)のみで調理ができるので、火や包丁を使わない「簡単な調理」が可能となる。それは、小学部3年生という発達段階や児童の実態や興味の高さも踏まえて、題材として適していると考えた。また、学校生活の中で、「指示を聞いて内容を理解してから行動する」という活動の繰り返しの中で、手順を理解してその通り活動できる力が育ってきているため、手順を正しく理解し処理することを意欲的に学ぶことができる題材であると思う。さらに、調理についての保護者の意識の高さから、家庭と連携して学習を進めていくことにより、大きな成果が期待できると考えている。

本単元のポイントは「じぶんで」できることである。そのためには、まず高い興味・関心が児童の中に芽生えることが必要である。よって導入部分では、これから児童が作る目標となるメニューを、T1が実際に目の前で作っておいしそうに食べることによって、児童の気持ちをひきつけ、「食べたい」「作ってみたい」という意欲の高まりを狙う。個々の目標に関しては、技術的に「少し頑張ればできる」範囲に設定することで、「やってみよう」という意欲を引き出せるようにしたいと考える。

「じぶんで」できるようになるためには、その手順を理解する力とその通り実践できる力の習得が必要である。そのために調理方法は個々の能力に応じて考え、その手順は視覚的支援を利用するなどの工夫をして分かりやすくしたい。また、使いやすい道具を提供することにより、主体的な実践力を促していきたい。使う調理器具に関しては、便利であるが、使い方を間違えると怪我ややけどにつながる危険もある。使用上の注意点についても重点を置いて学習内容に取り入れる。また、発達段階を考慮に入れ、安全面に配慮した学習環境を心掛けたい。

本単元の活動の集大成は「自分たちで作ったおにぎり定食」という形となる。それまでに各食品・調理器具を使った練習を行っていくが、その都度実際に自分が手がけたものを味わう経験を積み重ねることにより、喜びと次の取り組みへの期待感が高まると思う。また、まとめの授業では、全員分のおにぎり定食を自分たちで協力して作り、そのおいしさを皆で味わうことにより、喜びを分かち合い、達成感を感じることができると思う。家庭とは、学習内容をその都度報告し、家庭での実践を呼びかけていきたい。努力して練習したことを学校以外で発揮でき、自分で作ったものが家族の称賛を受ければ、おのずと味わう喜びはより強くなると思う。学校と家庭での練習の積み重ねの中で、実際に生活に生かすことができる力にすることを目標に、指導計画としては長期的・計画的に実践していく。目標を達成するためには、キャリア教育の特定の観点のみではなく、4つの観点すべてを伸ばしていくことが有効であると考え、4つの観点からの支援を手だてに取り入れた。

### 3 目標

- ・調理に興味を持ち、自分ができることに挑戦することができる。 [関心・意欲・態度]
- ・簡単な調理について、作り方や使う器具の正しく安全な扱い方を理解し、手順通り行うことができる。 [知識・理解] [技能]
- ・自分たちが調理したものを味わう喜びを感じることができる。 [思考・判断・表現]

### 4 学習計画(12時間扱い)

- 第一次 自分でできる調理について知ろう…8時間  
 第二次 おにぎり定食を作ろう…4時間 (本時2・3時間)

### 5 本時の学習

#### (1) 本時の目標

- ・調理器具の簡単で便利な使い方を理解し、安全に扱うことができる。
- ・自分で作って食べることができる喜びと達成感を感じることができる。
- ・これからも自分でできる調理に挑戦しようという意欲を持つことができる。

#### (2) 児童(生徒)の実態及び個人の目標







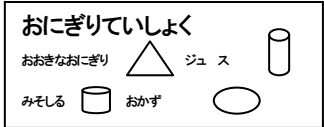
氏名	本時の目標に関する状態像	本時の目標
A	・調理に関して関心が高まり、意欲的に活動できる。分かりやすい支援により見通しをもつことで、活動に集中できる。	・調理器具の使い方を理解し、主体的に扱うことができる。 ・自分の力で全部作り上げることで、達成感を感じることができる。 ・これからも自分でできる調理に挑戦しようという意欲を持つことができる。
B	・自分で主体的に作業をする生活経験が少なかったが、本単元で家庭でも意識が高まり、機会が増えた。 ・食べることへの興味はある。	・教師の支援を意識して主体的に調理器具を操作することができる。 ・自分で作って食べる経験を積む。 ・自分で作って食べる楽しさとおいしさを感じることができる。
C	・調理に関して興味があり、家庭でも家族の支援のもと、いろいろな作業を経験している。環境の変化に情緒的に影響を受けやすい。	・教師の支援を意識して、調理器具を安全に扱うことができる。 ・作るものの見通しを持って取り組み、全部作り上げる達成感を感じることができる。 ・これからの活動の内容を知り、見通しを持つことができる。
D	・分かりやすく期待感を高める提示の仕方を伴えば、強い興味を持つことができる。初めて食べるものへの抵抗が大きい。	・調理器具の安全な使い方を振り返りながら、主体的に扱うことができる。 ・作るものの見通しを持って取り組み、全部作り上げる達成感を感じることができる。 ・これからも自分でできる調理に挑戦しようという意欲を持つことができる。
E	・集中して話を聞くことや長期の見通しを持つことが難しい。初めての作業や食べ物には慣れるまで抵抗を示す。	・教師の支援を意識して、調理器具の安全な使い方振り返りながら、主体的に扱うことができる。 ・作るものの見通しを持って取り組み、全部作り上げる達成感を感じることができる。 ・これからの活動の内容を知り、見通しを持つことができる。
F	・好奇心旺盛で意欲的で、本単元ではリーダーとして取り組んできた。分かりやすい支援により、落ち着いて活動できる。	・今までの学習を振り返りながら、調理器具を安全に扱うことができる。 ・自分の力で全部作り上げることで、達成感を感じることができる。 ・これからも自分でできる調理に挑戦しようという意欲を持つことができる。

G	<ul style="list-style-type: none"> <li>本単元で初めての経験を積み重ねた。調理器具やT1の動きに注目することが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師の支援を意識して、調理器具を主体的に扱うことができる。</li> <li>自分で作って食べる経験を積む。</li> <li>自分で作って食べる楽しさとおいしさを感じることができる。</li> </ul>
H	<ul style="list-style-type: none"> <li>分かりやすい提示や工夫した掲示物の利用を伴えば、活動の見通しがしっかりと持て、期待感や意欲につなげることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今までの学習を振り返りながら、調理器具を安全に扱うことができる。</li> <li>作るものを見通しを持ち、全部自分で作り上げることで達成感を感じることができる。</li> <li>これからも自分でできる調理に挑戦しようという意欲を持つことができる。</li> </ul>
I	<ul style="list-style-type: none"> <li>見通しを持てば、教師と共に落ち着いて参加できる。集中力の持続は難しい。環境の変化や新しいことに対して情緒的に不安定になりやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師の支援のもとに、調理器具を安全に扱うことを意識できる。</li> <li>作るものを見通しを持ち、教師と一緒に作り上げていく楽しさを感じることができる。</li> <li>自分で作ったものを食べる喜びとおいしさを感じることができる。</li> </ul>
J	<ul style="list-style-type: none"> <li>調理に関する生活経験は少なかったが、本単元で興味が高まり機会が増えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調理器具の使い方を振り返りながら、安全に扱うことができる。</li> <li>自分の力で全部作り上げることで、達成感を感じることができる。</li> <li>これからも自分でできる調理に挑戦しようという意欲を持つことができる。</li> </ul>
K	<ul style="list-style-type: none"> <li>調理に関する関心が高く、意欲的に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調理器具の使い方を振り返りながら、安全に扱うことができる。</li> <li>自分の力で全部作り上げることで、達成感を感じることができる。</li> <li>これからも自分でできる調理に挑戦しようという意欲を持つことができる。</li> </ul>
L	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期の見通しを持つことは難しいが、手本を見てその通り行う方法により、主体的に活動することができる。繰り返すことで定着できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師の支援を意識して、調理器具の安全な使い方振り返りながら、主体的に扱うことができる。</li> <li>作るものを見通しを持って取り組み、全部作り上げる達成感を感じることができる。</li> <li>これからも自分でできる調理に挑戦しようという意欲を持つことができる。</li> </ul>

(3) 準備・資料

炊飯器1台・保温ポット1台・電子レンジ1台・ラップ4本・やかん(2個)・耐熱コップ12個・ボール5個・しゃもじ6本・わりばし12膳・お椀12個・缶詰4個・インスタントみそ汁12袋・米4合・ふりかけ12袋・ペットボトルの飲み物(500ml)12本・掲示物・ホワイトボード・ランチョンマット12枚・長机3台・手順表がんばりカード・ヒビスコール

(4) 展開

<p>学習の内容及び活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登校後、当番の児童が炊飯の準備とセット・電気ポットのセットを行っておく。</li> <li>1 手を洗って、3年1組の教室に集合する。</li> <li>2 はじめのあいさつをする。</li> <li>3 本時の学習活動について知る</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>① おにぎり定食を作る (2組で)</li> <li>② 会食をする (1組で)</li> </ul> </div> <p>移動・エプロンをして着席</p>	<p>児童(生徒)への支援の手だて (かかわり) ・キャリア教育との関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セットした家電は危険のない場所にセッティングし、児童にやけどなどのケガがないように注意する。</li> <li>・今までの学習内容を掲示物(右表)やがんばりカードを見ながら振り返る。(意思決定能力)</li> <li>・練習の中でがんばったことや、苦労してできるようになったことなどを振り返る言葉かけを行い、その成果を本時に生かす意欲が持てるようにする。(将来設計能力)</li> <li>・本時の流れを説明し、自分が食べる場所にランチョンマットを用意することなどを通して見通しが持てるようにする。また、2組に移動し着席する際も、机上にエプロンを置いておくことでスムーズな流れを促す。(将来設計能力)</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;"><b>じぶんで おにぎりにいしょくをつくろう!</b></p> <p style="text-align: center;">けいかく</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 じぶんで  をあけてのもう</li> <li>2 じぶんで  でおこめをたこう</li> <li>3 じぶんで  をつくってみよう</li> <li>4 じぶんで  をつくってみよう</li> <li>5 じぶんで  をあけてみよう</li> <li>6 じぶんで  であたためよう</li> </ol> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div> </div>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>4 おにぎり定食を作る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の支援が行き届くように、またお互いの活動の様子を見てモデリングがし合えるように、基本は3人1組のグループで活動をする。(人間関係形成能力)</li> <li>・活動の最初に、調理器具の取り扱いの注意点や、温かいメニューをこぼしたりした際のやけどの危険などについて触れ、約束を確認する。(情報活用能力)</li> <li>・T1は各グループの活動の進み具合や状態を把握しながら、スムーズに活動が回るように、手順にそった指示を出す。(情報活用能力)</li> </ul>
---------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

活動内容	手順	使う器具・道具・インスタント食品
ア おにぎりを作る	<ol style="list-style-type: none"> <li>① ご飯を炊飯器からボールによそる</li> <li>② ふりかけを混ぜる</li> <li>③ ラップで包み握って形を整える</li> </ol>	炊飯器 ボール シャもじ ラップ
イ みそ汁を作る	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 袋を開けて中味をコップに入れる</li> <li>② お湯を注ぐ</li> <li>③ わりばしで混ぜる</li> </ol>	インスタントのみそ汁 保温ポット (お湯40~42℃) わりばし 耐熱コップ
ウ おかずを作る	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 缶詰を開ける</li> <li>② 皿に盛る</li> <li>③ 電子レンジで温める</li> </ol>	電子レンジ 缶詰 耐熱皿 わりばし

- ・がんばりカードや手順表を手元に準備し、練習を思い出しながら、やり方や注意点を自分で考えて作業が進められるようにする。また、がんばりカードに記入された保護者からのメッセージを振り返る言葉かけを行い、活動への意欲が持てるようにする。(意思決定能力) (将来形成能力)
- ・練習で使用してきた「スイッチ、ポン」などの合言葉を、手立てのポイントとして使用する。(情報活用能力)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作り終えたものは、その都度1組に運び、自分のランチョンマットの上に配膳する。ランチョンマットには、作るものの写真を貼っておき、その上においていくことで達成感と次の活動への見通しを持てるようにする。(情報活用能力)(意思決定能力)</li> <li>・安全面を考慮して、みそ汁に使用するお湯は、万が一こぼしたりしてもやけどにならない温度(40～42℃くらい)にする。お湯は児童が落ち着いて机に座り、準備ができた段階で注ぐようにする。</li> <li>・電子レンジによる温め具合は、「レンジ」15秒くらいでほんのり温まる程度にする。</li> <li>・児童の様子や活動の流れを考慮しながら、途中休憩をいれる。(目安として、10:30前後)</li> </ul>
5 会食をする	
① 着席し、完成したおにぎり定食を見合う。	・調理活動を終え、全員が自分のランチョンマットに配膳された「自分で作ったおにぎり定食」の前に着席し、お互いに見合うことにより、喜びと達成感を感じられるようにする。(人間関係形成能力)
② 乾杯してペットボトルをあける。	・練習でも使用したおたすけグッズを準備して選択できるよう言葉かけを行い、ペットボトルを自力であけて飲もうという意欲を持てるようにする。(意思決定能力)
③ おにぎり定食を食べる。	・児童の現在の気持ちが表れる言葉や表情を察知し、それらを周りの児童も意識したり共感したりできるような言葉かけをする。(人間関係形成能力)
④ 映像をみながら学習を振り返る。	・視覚的支援と振り返りの言葉かけにより、より鮮明に今までの学習の努力を思い出すことで、今食べた「おにぎり定食」のおいしさや、作ったことへの喜びや達成感を感じることができるようになる。(意思決定能力)また、家族からのコメントなども読み上げることで、これからも自分でできる調理に挑戦しようという意欲が持てるようにする。(将来設計能力)
⑤ ごちそうさまをする。	
6 今後の活動を知る。	・本単元のまとめの授業についてや本単元の学習を生かした活動の予定(今後の誕生会や会食での調理について)を話し、今後の学習活動への意欲と見通しを持てるようにする。(将来設計能力)
7 おわりのあいさつをする。	・授業の終わりを意識できる姿勢を確認し、あいさつをする。

#### 6 T2以下の役割

指導場面	担当者	具体的な役割・児童(生徒)への支援の手立て
4	T2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>A</b>・<b>J</b>はがんばりカードで活動内容を振り返りながら、<b>B</b>は手順表の写真を見ながら、やり方や注意点を思い出せるように言葉かけを行う。</li> <li>・ランチョンマットの上の写真に注目することで、一つの活動が終わったことと次の活動が始まることを意識できるようにする。</li> <li>・場合によって、T1や他グループの補佐を行う。</li> </ul>
	T3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>D</b>の活動の様子を<b>E</b>が見てモデリングできるように、注目できる言葉かけを行う。</li> <li>・一つずつできたことを確認し称賛することで、次の活動への見通しと意欲を持てるようにする。また、約束や注意点を確認し、安全を意識できるようにする。</li> <li>・<b>G</b>に対しては、一つ一つの活動をT3が分かりやすく注目しやすい位置や言葉かけで支援を行い、できるだけ主体的な活動を促す。</li> </ul>
	T4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>F</b>・<b>K</b>の支援にあたり、できるだけ自分の力で取り組めるよう、簡潔で少ない言葉かけにする。また、手順表を活用しながら見通しを持てるようにする。</li> <li>・<b>I</b>の支援にあたり、始めはT4が手を添えて支援をし、慣れてきたら一人で取り組めるようにする。</li> </ul>

	T 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で見通しを持って進んで行えるように、分かりやすい図絵の支援カードを準備し、グループで見合いながら進められるよう、言葉かけを行う。</li> <li>・Cに対しては、一つずつできたことを確認し称賛することで、次の活動への見通しと意欲を持てるようにする。</li> </ul>
全体 担当グループ	T 2	A・B・J
	T 3	D・E・G
	T 4	F・I・K
	T 5	C・H・L

7 座席表(学習活動位置)等

